

斗進

発行所

建交労田川支部

福岡県田川市新町10-60

電話

0947-44-0987

メール

tagawashibu@galaxy.ocn.ne.jp



2021年

6月10日

NO 903

「医療費2倍化」法

実施を許さない世論と運動を

「高齢者医療費2倍化法」が参議院本会議で、自民・公明両党などの賛成多数で可決成立しました。75歳以上の医療費窓口負担に初めて2割負担を導入する法律です。慢性的に病気を抱える高齢者の受信行動にブレーキをかける危険が国会論戦で浮き彫りになったにもかかわらず、成立を強行した菅義偉政権の姿勢は重大です。一方、負担増の実施は早くても2022年10月以降です。

国民が「ノー」の声を上げればストップできます。秋までにある総選挙で菅政権を退陣に追い込み、政権交代を実現することが重要になります。

2割負担になる年収は、単身世帯200万円以上、夫婦世帯320万円以上で約370万人が対象になります。

2割負担で年1050億円の受診抑制を招くという試算もしています。高齢者に容赦なく痛みを強いる実態はごまかせません。「若い世代のため」という菅政権の言い分も成り立ちません。今回の法律によって、軽減される労働者1人あたりの保険料は月平均33円です。給与が比較的低い若年労働者だと軽減額はさらに少なくなります。最も減額されるのは公費負担（1140億円）です。

コロナ禍でもばく大な利益を上げている大企業や富裕層に大分の負担を求め、全世代の社会保障を拡充する改革に道を開く時です。

コロナ対応で尽力している地域医療体制を掘り崩す「病床削減推進法」（5月21日成立）の発動をさせない闘いも急務です。

コロナ禍の教訓に学ばず医療の根底を壊す政治を変えるため、有権者が一票の力を示しましょう。

（しんぶん 赤旗 6月7日主張より）



ミカワセ 飛はいつ 楽か 立つか しみ

今年梅雨に早く入った。雨とともに我が家の裏土手の巣穴

にカワセミが飛んできて雛をかえし子育てを始めている。巣穴は昨年の今頃つがいに来て掘ってたもの。無神経にも土手の草刈りをしたので昨年その穴はほつたらからされたままであった。

穴の深さは1メートル

トル以上あった。

近くの森ではカラスの子育ても真つ最中で近づくとかカーカーと威嚇的で味気ないが、カワセミのマリンブルーが飛んでくる姿は気分を和らげられる。

組合の「建交労」

誌に笹 耕市さんの「秘太刀川蟬」シリーズが連載されていますが、カワセミは本当に動きが素早く、観察しながらカメラを向けてもなかなか写真が取れません。巣穴に入っ出てくる瞬間を狙って感でシャッターを押してたまたま取れた写真です。コロナ禍の中うつつうしい毎日ですが、しばしの清涼感を幸せに味わっています。

(赤瀬)



今後の日程

- 6/8 (火) 原水禁実行委
- 6/9 (水) 田川市ソーシャル就労者懇談
- 6/10 (木) 福智町ソーシャル就労者懇談
- 6/14 (月) 九条の会
- 6/18 (金) 職場代表者会議
- 6/28 (月) 「仲間のつどい」